

## もり 森林の里親事業を行いました

日時：7月25日(月曜日)9:00~11:00

場所：南条生産森林組合 所有山林

協力者：南条生産森林組合

組合長 柳沢 博美 様

同 組合員 宮沢 輝男 様

出席者：佐藤部会長、菊池相談役、小柳相談役、山崎監事、小柳副部会長、小林会計担当、高藤研修委員長、木村研修委員、水出浩介氏(株)ウェルサイクル(計9名)

担当：研修委員会

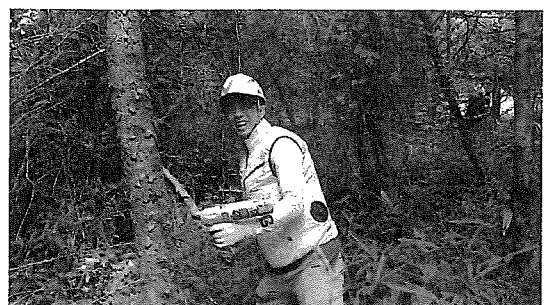
6月に行われた通常総会において、2022年度並びに2023年度におきまして、研修委員長という大役を仰せつかりました高藤鐘一と申します。

昨年に引き続き、7月25日に「森林の里親事業」を実施し、無事に終わることができました。これもひとえに青年部会員皆様の協力があったからだと確信しています。

さて、「森林の里親事業」実施日の朝を迎え天候を確認したところ、しっかりと晴の予報となっており、一安心しました。というのも、前回そして前々回と雨天の中で作業をし、雨の中での作業は湿度と手に持つノコギリが滑ることとの戦いになるからです。その心配をする必要が無いということだけで気持ちが軽くなりました！

当日は、会員企業7社、参加者数9名と、南条生産森林組合から柳沢組合長と宮沢様2名、計11名で作業を行いました。前年度より若干参加者数が減ってしまったことは心残りですが、部会員の顔にはやる気が漲みなぎっており一安心しました。

事業を実施するにあたり開会式が執り行われ、同組合の柳沢組合長から当事業への謝意、安全作業の徹底と作業内容についての説明をいただき、その後、佐藤部会長から事業参加者への感謝の言葉を頂戴し作業開始となりました。早速枝落としをする唐松の森へ藪漕やぶこぎぎをしながら入り、地面から胸程の高さに生えている枝を落としていきます。細い枝から太い枝まで様々ですが、皆、数年に及ぶ経験値と切れ味の良いノコギリを持参していたのであつという間に仕上げていきました。また、いずれ商品となることを考え、極力節にならないように考え切っていく様は、もはや職人と言っても過言ではないのではと感じました。



作業を黙々と繰り返していると笛が鳴り、柳沢組合長から休憩を取るよう指示ができました。皆それぞれ座りやすい場所を探し、水分補給となります。気温が涼しかったこともありそれほど汗をかくことはありませんが、動いた後の一杯はやはり格別でした。その後作

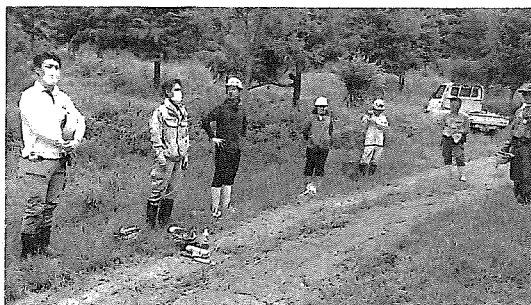


業開始の笛が鳴り、皆一斉に森林の中に入っていきます。例年だとこのあたりで蜂に刺される被害が発生しますが、今年は不思議なことにほとんど蜂がいませんでした。これも環境の変化が影響しているのでしょうか。何はともあれその後2回の休憩をはさみ、終了を告げる柳沢組合長の笛が鳴りました。顔を上げ作業した場所を振り返ると、しっかりと枝落としができたせいか、鬱蒼<sup>うっそう</sup>としていた森林に光が差し込み、キラキラと輝いているようにも見えました。



閉会式では、長年に渡り行われてまいりました当事業への感謝の言葉を改めて柳沢組合長からいただき、参加へのお礼及び閉会の挨拶

を私からさせていただき2022年度森林の里親事業は終了となりました。



その後、コロナウイルス感染症対策をしっかりと行い、有志にて昼食をいただきました。例年であれば汗や雨でびしょ濡れとなりお店へ入るにも気が引けていましたが、今回は湿度も低く雨もなかったことで爽やかなお昼となりました。和気あいあいと青年部会員の仲間と過ごせるこの時間は、本当にかげがえのないものだと実感しました。

これからも、(一社)長野県資源循環保全協会がますます発展するよう、若い力を結集し、一致団結して取り組んでいきましょう！

研修委員会委員長 高藤 鐘一  
(有限会社三井金属 東御市)